

ふくしま駅伝 皆が協力して走りぬく

11月20日、第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（白河～福島16区間 全長：95.0km）、通称ふくしま駅伝が開催されました。大会には、合同チーム希望ふくしまを含む52市町村が出場しました。南会津町は総合29位 町の部12位と昨年より順位を上げ健闘しました。郡山市チームが優勝、5時間を切る記録でした。南会津町チームは4時間44分09秒でした。昨年よりおよそ6分半タイムを縮めました。

選手らは毎日自主練を行い週に2回程度びわの影競技場で合同で練習してきました。11月5日、南会津町チームの結団式が行われ、各選手が抱負を述べました。選手はもちろん、補欠の選手からも「選手のサポートを頑張る、いつでも走れるように整える」と頼もしい言葉を聞くことが出来ました。

11月20日、南会津町では担当となる教育委員会で応援団を結成し応援に出かけました。甲子道路を通り白河市「しらかわカタルスポーツパーク」へ。今年も選手関係者以外は競技場へ入ることが出来ず、市町村の応援団は会場近くでスタートを待ちました。スタート後、応援団は先回りしながら応援に向かいました。

今年も若い選手が活躍しました。チーム当日体調の関係で2人の選手の交代がありました。補欠だった選手も出場し役割を果たしました。阿部博史主将は「ふくしま駅伝は南会津町の看板を背負って走る特別な大会で良い体験。終わった後のみんなの笑顔が素晴らしかった。」と振り返りました。廣野友一郎監督は「急な選手の交代もあったがみんな協力して走りぬくことが出来た」と話していました。

町長としては初めて応援に出かけた渡部正義町長は「町民に元気と勇気を届けてくれた。選手と共にサポートにつまわったメンバーもありがとうございます。今回の経験は人生の宝物になる。今後も頑張ってください」と最後に挨拶しました。



結団式



ナンバーカード 27 が南会津町



応援中～



コンサート 久しぶりに楽しむ！

10月30日、御蔵入交流館で山形交響楽団の演奏会、オータムコンサートが開かれ、田島高等学校と田島中学校の吹奏楽部が共演しました。

10月17日、コンサートに先立ち山形交響楽団の井上直樹首席トランペット奏者が指導のため、田島中学校を訪れ指導を行いました。共演する曲は、「星条旗よ永遠なれ」。1時間後には、演奏する表情も自信に満ちた顔に。

本番は弦楽器とも共演。演奏した部員も、お客様も感激していました。

11月6日、陸上自衛隊第6音楽隊の演奏会が開催されました。

南会津町町民の歌やNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」テーマ曲、演歌のメドレー曲などが演奏されました。地元出身者との共演の申し出に応え、南会津町出身の阿部祥子さんと第6音楽隊の隊員が南会津町民のうたを3部合唱で歌い共演しました。



インタビュー
いつも少ない人数で練習している。こんなに多くの人との共演はとても刺激になった。記念になった



町民の歌「春夏秋冬」を3部合唱で

会場にはおよそ750人が訪れ音楽を楽しみました

